

日時	【第1日】2024年9月5日(木)	
	研修講演、事例報告	13:00～15:20
	グループ討議(オンサイトのみ)	15:40～17:10
	情報交換会(オンサイトのみ)	17:30～19:00
	【第2日】2024年9月6日(金)	
	グループ討議(オンサイトのみ)	9:30～11:00
	特別講演	11:20～12:20
	キャンパス見学会(オンサイトのみ)	13:20～14:20

※特別講演、研修講演、事例報告は、オンサイト・オンデマンド配信・ライブ配信の予定です。

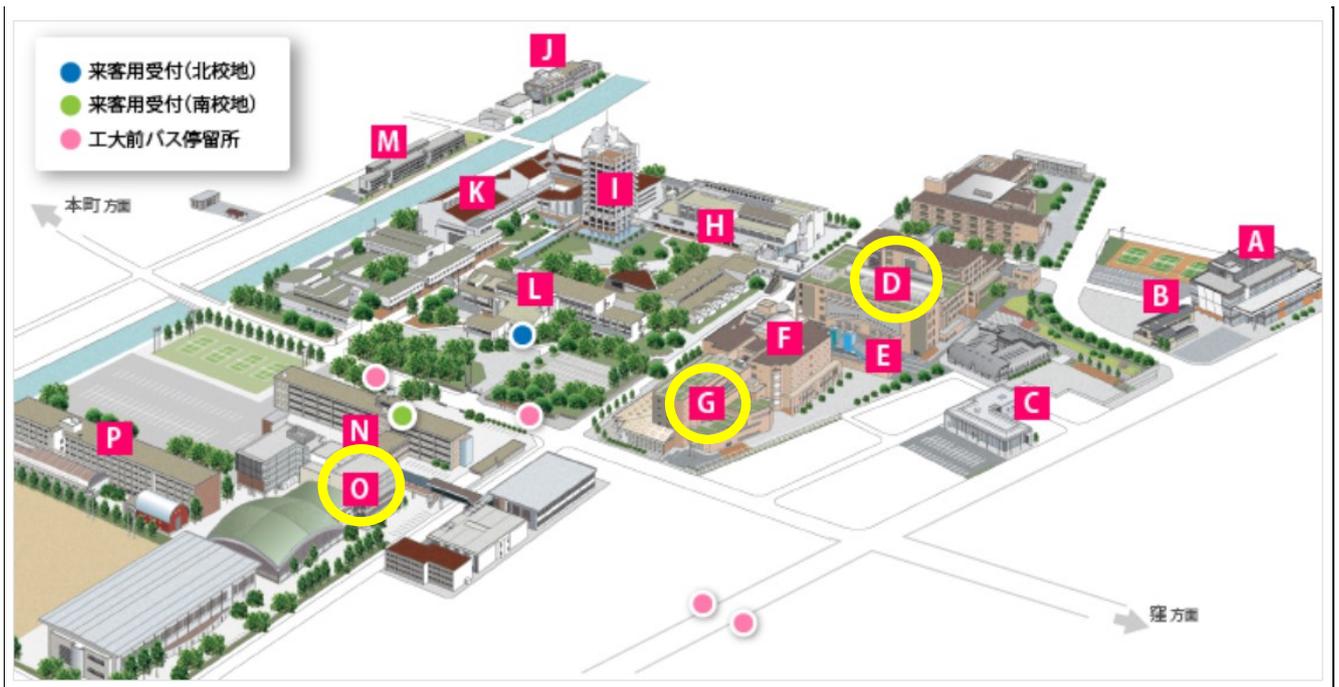
**会場** 金沢工業大学 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 TEL 076-248-1100

**【アクセス】**

JR金沢駅東口(兼六園口)よりバスで約30分。

改札を出て、右側「兼六園口(東口)」を出て直進左手。ロータリー奥手の「10番乗り場」より、「33」「34」「39」番バスにて「金沢工業大学」下車。

※注：全国交通系ICカードは対応しておりません。北陸鉄道専用ICカード(Ica:アイカ)もしくは現金精算となりますので、ご注意ください。



【1・2日目 講演会場、グループ討議会場】

**D** > 23号館 (1階、2階、4階利用予定)

【1日目 グループ討議会場 (Iグループ)】

**O** > 12号館 (SDGs推進センター)

【1日目 情報交換会会場】

**G** > 21号館 【1F 学生食堂】



金沢工業大学 扇が丘キャンパス  
交通アクセス

## 第1日

【9月5日（木）】

金沢工業大学 扇が丘キャンパス 23号館 2階

1. 開会挨拶 13:00～13:10 私立大学環境保全協議会 会長 飛田 満
2. 開催校挨拶 13:10～13:20 金沢工業大学 学長 大澤 敏
3. 研修講演 13:20～14:10（50分間）

「被災地調査から得られた知見とE-ディフェンスを活用した今後の展望」

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 地震減災実験研究部門 西 峻汰

2024年に発生した能登半島地震および台湾花蓮地震において被災地調査を実施しました。この調査を通じて、能登半島地震と台湾花蓮地震での被害の特徴を分析し、両者に共通する被害を確認しました。近年、大地震による被害を受けて建築基準法が改正されましたが、現行基準では極めてまれに発生する地震後の建物の機能確保については要求しておらず、そのような観点に着目した建物の耐震設計は一般に行われていません。今回の地震では、建物の倒壊は免れたものの、非構造部材や設備機器といった二次部材の損傷が大きく、地震後の継続使用が困難な事例が多く見られました。都市建物のレジリエンスは二次部材に依存していることが明らかになりました。最後に、E-Defense 施設の紹介とこれを踏まえた今後の実験計画についても紹介します。

◇ 休憩・デモ展示見学（20分） ◇

4. 事例報告 14:30～15:20（50分間）

「コレクティブインパクトの創出を目指した金沢工業大学 SDGs 推進センターの取り組み」

金沢工業大学 経営情報学科 教授 / SDGs 推進センター所長 平本督太郎

金沢工業大学 SDGs 推進センターは、SDGs に関して、学内では学部学科を結び付けるハブ機能、地域では複数のステークホルダーを結び付けるハブ機能を担っています。またセンターが率先して独自の取り組みを数多く生み出すことにより、新たなパートナーシップの組成を通じたコレクティブインパクトの創出に取り組んできました。本講演では、金沢工業大学における SDGs の捉え方と、教育、地域経営、ビジネスという3つの重点領域を設定し行ってきた取り組みの概要についてご紹介します。

◇ 休憩・デモ展示見学（20分） ◇

5. グループ討議 15:40~17:10 (90 分間) 23 号館 1 階・4 階、12 号館 SDGs 推進センター

オンサイトのみ

※Ⅰ～Ⅲグループから一つ選択してご参加ください。

Ⅰ：教育と連携「SDGs の実現に向けた学生と地域の連携に大学が果たす役割を考える」

SDGs 活動の支援のために金沢工業大学が学生たちと開発した「SDGs ゲーミフィケーション教材」を体験し、学生時代にその教材開発に関わり、後に起業した株式会社 LODU の取締役 COO 亀田 樹様のご講演をとおして、大学・学生・地域が一体となった SDGs 実現に向けた取り組みを考えます。

Ⅱ：化学物質「新たな化学物質規制体系に向けた対応について」

前回までのグループ討議で取り上げた、化学物質規制体系の見直しについて、新たな情報等をもとに、複数のグループに分かれて、テーマに応じた意見交換などを行うことを予定しています。一部グループでは、保護具着用管理責任者講習の実技演習も予定しています。

- Ⅱ-A：化学物質 法改正概要
- Ⅱ-B：化学物質 アセスメント実務
- Ⅱ-C：化学物質 管理体制
- Ⅱ-D：化学物質 ばく露軽減措置（保護具着用管理責任者実技講習含む）
- Ⅱ-E：化学物質 安全教育
- Ⅱ-F：化学物質 実験系廃棄物

Ⅲ：施設・設備「大学施設で実現可能な ZEB 化改修について」

既存施設の ZEB 化改修は脱炭素社会の実現に向け大切な取り組みになります。国内の大学でもいち早く ZEB 化を推進している大阪大学様のご講演を中心に、皆様と討議意見交換を行います。

グループ内講演

「大阪大学キャンパスににおける脱炭素に向けた ZEB 化とエネマネの取組み」

大阪大学 サステイナブルキャンパスオフィス 准教授（環境・エネルギー管理部門長）

鈴木 智博

◇ 移動（20 分） ◇

6. 情報交換会 17:30~19:00 (90 分間)

21 号館 学生食堂

オンサイトのみ

## 第2日

【9月6日（金）】

同 23号館

1. グループ討議 9:30～11:00（90分間） 23号館1階・4階  
オンサイトのみ（前日より引き続き討議を行います）

◇移動（20分）◇

2. 特別講演 11:20～12:10（50分間） 23号館2階

「再生可能エネルギーと電力・エネルギーの地産地消」

金沢工業大学 工学部 電気電子工学科 教授 泉井 良夫

金沢工業大学では、再エネ、地産地消、エネルギーレジリエンスをキーワードに、社会実装をベースにカーボンニュートラルを目指した取組みを進めています。白山麓キャンパスでは、再エネの電気、熱、水素を活用した、エネルギーマネジメントシステムを構築しています。さらに、扇が丘キャンパスは、直流給電システムを実事業として構築し、再エネ電力を直流でキャンパス内に供給しています。本講演では、これらの再生可能エネルギーの活用と、電力・エネルギーの地産地消について、ご紹介させていただきます。

3. 講演総括 12:10～12:20

◇昼休憩・移動◇

4. キャンパス見学会 13:20～14:20  
オンサイトのみ

A コース：キャンパス見学  
（ライブラリセンター（稀覯書等）、夢考房等含む）

B コース：扇が丘キャンパス直流スマートグリッド施設見学

以上